

お客様の「Eco-Net 約款」等ご利用に応じた義援金 (約 3,600 万円) の寄付を行いました

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮 雅也）では、東日本大震災の被災地復興支援の一環として、2011年5月1日から2012年3月31日までの期間、お客様が「Eco-Net 約款」等をご利用いただいた場合※に、1件につき50円を弊社が負担し東日本大震災の義援金とすることとしています。

このたび本件にかかわる2011年10月1日から2012年1月31日までのファンド(721,677件のご利用、総額36,083,850円)について、以下のとおり寄付を行いましたのでお知らせします。

今回の寄付により、2011年5月からの累計の義援金は71,894,500円に達しました。

※対象となるご契約または事故修理

- ・自動車保険のご契約の際に「Eco-Net 約款」または「Web 確認」をご選択いただいた場合
- ・自動車事故の修理の際に樹脂バンパーを交換ではなく補修していただいた場合、または修理の際にエコパーツ（リサイクル部品）をご利用いただいた場合

◆寄付先および寄付金額

寄付先団体	寄付先名称・使途概要	寄付金額
公益財団法人 日本ユニセフ協会	<p>『東日本大震災緊急募金 ～こどもにやさしい復興をめざして～』</p> <p>ユニセフ本部コペンハーゲン調達事務所、ユニセフ公的資金調達部東京事務所ならびに協力団体・企業などの協力を得て、保健、教育をはじめ、専門的な知識を必要とする心理社会的支援などの重要なサービスを提供するための支援を行う。</p>	18,083,850 円
非営利団体 ジャパン・フォー・サステナビリティ	<p>『JFS東北被災地支援プロジェクト ～若者と東北の今を見つめ、未来への希望を育み、学びを世界と共有する～』</p> <p>東日本大震災で被害の大きかった東北3県を中心に、若者たちに寄り添い、東北の今を見つめながら、若者たちが未来への希望を育むことができる支援を行う。また、このプロジェクトでの若者たちによる学びを世界の人々と共有する。</p> <p>※弊社は資金面の支援にとどまらず、当該団体の取組みに積極的に参画していく予定です。</p>	18,000,000 円

大規模災害では、第1期の人命救助、第2期の金銭的・物的支援に続き、第3期の復興期ではコミュニティ開発、自発的なビジョンづくりによる地域の復興支援が重要性を増すと言われており、弊社として、子どもや若者を通じてのコミュニティ・地域の復興を支援していきたいと考えています。また、復興に向けた取組みを内外に広く伝えていくことで、被災地の子ども・若者の励みや勇気に、そして支援の輪の広がりにつながればと思い、上記2団体に寄付を行うことにしました。

■公益財団法人日本ユニセフ協会について・・・

世界 36 の先進国・地域にあるユニセフ協会（国内委員会）のひとつ。ユニセフ（国際連合児童基金）は、全ての子どもたちの権利が守られる世界を実現するために活動する組織。世界各国・地域の政治的に重要な立場にある人々に子どもを取り巻く問題の改善のための政策を促し、草の根レベルで活動するさまざまな方々と協同し、子どもたちの権利を守るための新たなアイデアを具体化している。

■非営利団体ジャパン・フォー・サステナビリティについて・・・

持続可能性に関する日本の情報を世界に発信し、そのフィードバックを日本に伝えて世界と日本の持続可能性を高める N G O。191 カ国、約 11, 000 人の読者に情報を提供するウェブページは日本の持続可能性のポータル的な位置づけとなっている。震災直後から、被災や原発事故の状況を世界に伝えるウェブページを開設、また、世界から被災地への応援メッセージを集め、被災地に届けている。

【ご参考】 2011 年 5 月 1 日から同年 9 月 30 日までのファンドは同年 12 月に寄付を行っています。

2011 年 12 月 20 日付ニュースリリース

『お客様の「Eco-Net 約款」等ご利用に応じた義援金（約 3, 580 万円）の寄付を行いました』

http://www.nipponkoa.co.jp/news/whatsnew/2011/news2011_12_20_gienkin.pdf

以上

